

天竜精機株式会社

2011年度 環境活動レポート

(対象期間:2011年1月~2011年12月)



作成日：2012年2月21日

改訂日：

□ごあいさつ

豊かな緑の大地の恵みを受けた環境にやさしい物作りを目指して

当社は ふたつのアルプスに育まれた風光明媚な場所に立地し、社章でもある太陽と月と大地の自然環境豊かな当地で、経済発展と環境保全活動に貢献します。

天竜精機株式会社
代表取締役 芦部 喜一

環境方針

<環境理念>

天竜精機株式会社は、地球環境の保全が経営の重要課題であると認識し、全員参加で事業活動と環境保全との両立に努めます。

環境方針

- (1) 納期遵守を通じて、効率的な生産を追及し、資源及びエネルギーの削減に努めます。
- (2) トップレベルの環境性能を持つ製品の開発に努めます。
- (3) 環境法規、協定を遵守し、地域に受け入れられる企業であり続けます。
- (4) 循環型社会の実現を目指し、環境目標を設定し、継続的改善を図ります。
- (5) 環境方針を定め、全社員に周知すると共に、環境への取り組みを環境活動レポートとして情報開示し、社会とのコミュニケーションに努めます。

制定日： 2010年1月16日

改定日：

代表取締役社長 芦部 喜一

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
天竜精機株式会社
代表取締役社長 芦部 喜一
- (2) 所在地
本 社 長野県駒ヶ根市市東伊那5650番地
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 品質環境室 室長 名取 武治 TEL:0265-82-5111
担当者 同上 TEL:0265-82-5111
- (4) 事業内容
省力専用機的设计、製造、販売 主要製品:コネクタ組立機、SMT関連機器、他
- (5) 事業の規模
製品出荷額 23億円
主要製品生産量 230t

	本社
従業員	103名
延べ床面積	5,885㎡

- (6) 事業年度 1月～12月

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 天竜精機株式会社
 関連事業所： なし

 対象外： なし
 活動： なし

□主な環境負荷の実績

項目	単位	1990年 (基準年度)	2009年	2010年	レポート 対象年度
二酸化炭素総排出量 二酸化炭素排出係数 *0.378	kg-CO ₂	277,898	271,065	311,060	291,677
廃棄物排出量	トン	***	16.83	22.29	19.39
一般廃棄物量排出量	トン	***	0	0	
産業廃棄物排出量	トン	***	16.83	22.29	
総排水量	m ³	***	873	1,043	1,056
化学物質使用量	kg	***	***	***	4.95
物質使用量	トン	***	***	147	140
総製品生産量	トン	***	***	219	230

電力+化石燃料

□環境目標及びその実績

項目		年 度		1990年	2009年	2010年	2011年	2011年
		(基準年度)	(実績)	(実績)	(目標)	(実績)		
			基準年度比	基準年度比	基準年度比	基準年度比	基準年度比	
電力の二酸化炭素 排出量削減	kg-CO2 基準年度 (1990年)	153,283	164,083 107.0%	211,615 138.1%	142,706 93.1%		0.0%	
灯油の二酸化炭素 排出量削減	kg-CO2 基準年度 (1990年)	69,958	37,481 53.6%	42,644 61.0%	65,131 93.1%		0.0%	
ガソリンの二酸化炭 素	kg-CO2 基準年度 (1990年)	54,657	68,454 125.2%	54,866 100.4%	50,886 93.1%		0.0%	
軽油の二酸化炭素 排出量削減	kg-CO2 基準年度 (1990年)	** , ***	2,046 ** , ***	1,935 ** , ***	** , *** 93.1%	** , ***	** , *** 93.1%	
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	273,337 (1990年)	271,065	311,060	254,477	254,477		
一般廃棄物の削減	kg 基準年度 (1990年)	0	0	0	0	0	0	
産業廃棄物（廃油 等）の削減	kg 基準年度 (1990年)	* , ***	16,825 * , ***	22,290 ** , ***	13,080 ** , ***	13,080 ** , ***	13,080 ** , ***	
節水	m ³	***	873	1,043	1,080	1,080		
化学物質使用量	kg	***	***	***	4 (1~8月実績)	4 (1~8月実績)	4	
物質使用量	トン	***	***	147	130	130		
総製品生産量	トン	***	***	219	200	200		

□環境活動の取り組み計画と評価

◎よくできた ○ままできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評 価 (結果と今後の方向)
電力による二酸化炭素排出量の削減		
・納期遵守	△	工程不良低減、顧客不具合低減等の施策にて、納期を守る効率的な生産活動を目指した。しかし、工程不良、顧客不具合の発生で納期を守れず、二酸化炭素排出量の削減を、達成出来なかった。ユニットの標準化・作業の標準化に取り組み、超短納期でものづくりを行うことで、目標を達成する。
・工程不良の20%削減	△	
・顧客不具合 0件/月	△	
・蛍光灯の時間外消灯	○	
・冷暖房機の温度管理	○	
・効率の良いコンプレッサ使用	◎	
化石燃料による二酸化炭素排出量の削減		
・公共交通機関の利用	○	運転日報によるエコ運転の報告で、二酸化炭素排出量削減の意識が広がった。公共交通機関の利用を促進していく。
・エコ運転の推進	◎	
一般廃棄物の削減		
・分別し廃棄業者への売上	◎	分別活動を進め、有価として業者に売上が出来、目標を達成できた。今後も分別活動を継続していく。
産業廃棄物（廃プラ）の削減		
・購入品梱包の業者引取り	○	業者への梱包材削減依頼を継続するとともに、分別化によるリサイクルの拡大をしていく。
・分別化によるリサイクルの拡大	○	
・圧縮化	×	
・廃棄物分別パトロール	○	
節水		
・手洗い時の節水	◎	朝礼等で節水の呼びかけを継続していく。
省資源		
・印刷の必要性の見直し	△	印刷の必要性の見直し活動を実施したが、目標を達成できなかった。但し、コピー紙の裏紙利用率は高かった。可能なものは両面印刷を行い資源の有効活用を今後も継続する。
・縮小印刷の徹底	○	
・コピー紙の大量仕入れ禁止	○	
・社外発行文書の電子化	○	
製品への環境配慮		

・消費電力の測定、空気の消費量の削減	△	エコプロダクツに向けて、M/C毎の電力量と、空気の消費量の測定を行い現状把握をおこなった。継続して測定する
社会貢献		
・地域への活動	○	社) 国土緑化推進機構へ「緑の募金」を実施。

**□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。**

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属クズ、廃プラ、廃ガラス、廃油等)
フロン回収破壊法	業務用空調機
水質汚濁防止法	BOD、ノルマルヘキサン抽出物質含有量
工場立地法	指定工場の新設時の届出、記載内容の変更時の届出、緑地面積率の遵守
労働安全衛生法	有害物質に関する規制、名称等を表示すべき有害物、安全衛生管理体制
消防法(危険物)	防火管理者、危険物貯蔵所、取扱所設置の届出

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し

納期を遵守する為に、効率的な生産を目指して活動を行ったが、新規設計による工程不良や顧客不具合が低減できず、二酸化炭素の削減目標を達成出来なかった。
次年度は、ユニットの標準化・作業の標準化に取り組み、超短納期でものづくりを行うことを会社方針として取り組み、効率的な生産によって、二酸化炭素の削減に取り組む。

□環境活動の紹介

天竜精機は、中央アルプスと南アルプスに挟まれた、伊那谷の豊かな自然の中で、事業を推進する企業です。
太陽光発電フィールドテスト事業の助成を受け、太陽光発電システムを導入し運用しています。
この自然の恵みを活用して、太陽光発電システムは年間使用電力量の約15%を補っています。
なお、天竜精機の太陽光発電システムで発生した環境価値は第三者へ移転しています。



環境方針に納期遵守を掲げ、効率的な生産を迫り、資源及びエネルギーの削減に向けて、取り組んでいます。
そして、当社のミッションとして、
「私たち天竜精機は、生産準備の右腕企業です。

共に課題に挑戦し、
世界中の人々の快適なデジタルライフの発展に貢献します。」を掲げ取り組んでいます。
環境活動面と技術面の両面で「お客様に選ばれる会社」を目指し活動を行っています。

